



広報うじたわら

9月号

No. 545  
2013

# 町民の窓

目次

contents

ズバツと火点射抜き 奥山田支部優勝 京都府消防協会綴喜支部消防操法大会	06
託された平和のバトン 悲惨な過去を知り未来を考える	08
スポーツ講演会	11
町内で働きたい人集まれ 合同就職面接会・企業説明会	14
ようこそ「アレン先生」 ALT2人体制に	14

【町の位置】北緯34度51分 東経135度51分 海拔118メートル(役場)  
 【町の面積】58.26平方キロメートル  
 【人のうごき】人口 9,834人(+17) 男 4,889人(+11) 女 4,945人(+6)  
 出生 4人 死亡 9人 転入 41人 転出 19人  
 世帯数 3,520世帯(+8)  
 ※平成25年8月1日現在。( )内は前月との比較。

発行・編集：宇治田原町役場総務課 ☎610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10番地 TEL (0774) 88-2250 FAX (0774) 88-3231 印刷：(有)新進堂印刷所 宇治市宇治妙楽9

●町長直通メール nishitani@town.ujitawara.kyoto.jp ●町長直通FAX 88-2011 ●ホームページアドレス http://www.town.ujitawara.kyoto.jp



## 思いやりの連鎖で弾けた笑顔 ふくしまっこ in 宇治田原★元気回復キャンプ

福島原発事故の影響で、屋外で運動や遊びが十分にできない子どもたちに、思いっきり太陽の下での遊びを楽しんでもらう「ふくしまっこ in 宇治田原 元気回復キャンプ」。宇治田原の多くの人の思いやりが繋がって実現しました。ふくしまっこが宇治田原で過ごした3日間。青空の下、たくさんの笑顔が弾けました。

思いやりの連鎖で弾けた笑顔  
ふくしまっこ in 宇治田原 元気回復キャンプ

# 宇治田原で過ごしたとびっきりの夏。

ふくしまっこが宇治田原で過ごした3日間。ここでできる、ここにあるモノでのおもてなし。わずかな時間だったかもしれないけれど、ふくしまっこにとって、ボランティアスタッフにとっても忘れられない、とびっきりの夏になりました。



## 歓声と笑顔が溢れた3日間。

福島の子どものために、「宇治田原の私たちができること」を考え、多くの人の思いやりが重なって実現した「ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト 元気回復キャンプ」。このキャンプは、福島などから4家族16人を招いて開催されました。8月16日から18日、真夏の太陽が照りつける中、ふくしまっこは、宇



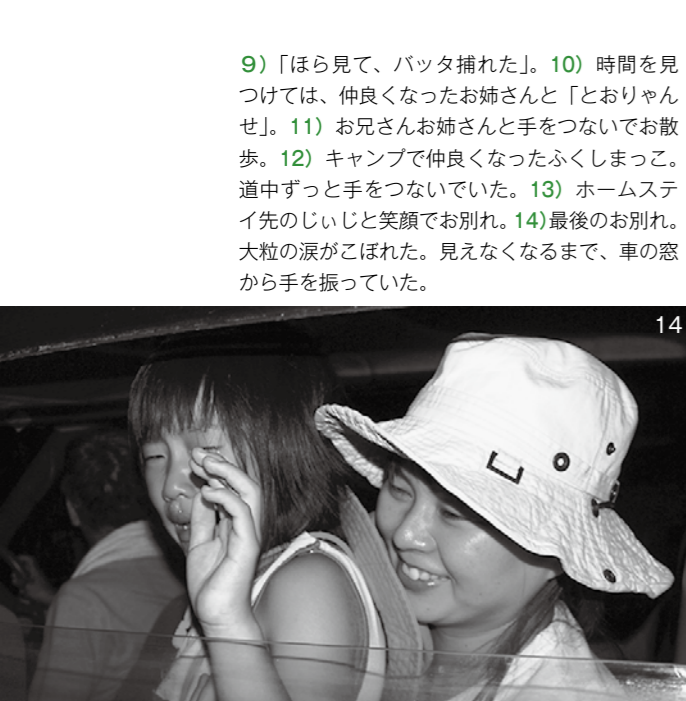
6) 灯籠づくりに挑戦。野菜で今年の干支「へび」を作った。7) お姉さんに浴衣姿に似合うよう髪を結んでもらう。8) 宇治田原に住んでいても体験できない茶宗神社での流しそうめん。たまに流れてくるさくらんぼが子どもたちには大人気。



治田原の豊かな自然の中を元一杯、駆け回り、思う存分、夏休みを満喫しました。川では魚を追い、山では虫捕り。キャンプファイヤーを囲んだあとは、夜空に輝く星空を見上げました。茶香服にも挑戦。茶宗神社で流しそうめんを食べ、湯屋谷の地蔵盆行事に参加。地元の子ともたちとも交流しました。初日のウェルカムパーティーでは少し緊張した様子を見せていたふくしまっこ。ボランティアのお兄さんお姉さんや地域の人たちと触れ合い、ホストファミリーの温かいおもてなしを受け、すぐに打ち解けました。3日間のキャンプは終日、ふくしまっこの歓声と笑顔が弾けました。しかし、楽しい時間はあっという間に過ぎ去るもの。迎えた最終日。出会いがあれば別れがある。分かっているけれど、宇治田原で育んだ絆が深いほど、楽しかった思い出が多いほど、別れはつらく、悲しいものになりました。ふくしまっこは、宇治田原で、素敵な出会いや発見があり、多くの人の温もりややさしさに触れました。これらの経験は糧となり、いずれ福島が明るい未来への活力につながることでしよう。



1) 草の下に網を入れてごそごそ。ドンコが捕れた。2) 3回まわってからゆっくり前へ。割ったスイカは甘くておいしい。3) プールにもぐって、よ〜いどん。4) このお茶は色が違うかな。大人より子どもの方が成績が良かった茶番服。5) くわ池でのキャンプファイアー。「ざっき食べたカレーおいしかったね」。



9) 「ほら見て、バツタ捕れた」。10) 時間を見つけては、仲良くなったお姉さんと「とおりやんせ」。11) お兄さんお姉さんと手をつないでお散歩。12) キャンプで仲良くなったふくしまっこ。道中ずっと手をつないでいた。13) ホームステイ先のじいじと笑顔でお別れ。14) 最後のお別れ。大粒の涙がこぼれた。見えなくなるまで、車の窓から手を振っていた。



### ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

ひとりひとりが復興に向けて歩みはじめよう。そして、ふくしまから、新たな流れを創っていきこう。大震災そして原子力災害から必ず立ち直ります。ふくしまから、新たな流れを創っていききたい。未来への意志も込めたふくしまのスローガン。

## 福島県

自然あふれる観光スポットが多く存在する。福島市の東北六魂祭や相馬市・南相馬市の相馬野馬追は多くの観光客で賑わう。NHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公・新島八重が会津出身。「八重」効果で鶴ヶ城の入場者数は平成20年度の95.3%まで回復。観光客数は震災前の水準には満たないが、観光再生は着実に進んでいる。

また、福島盆地や会津盆地など自然条件を生かしてさまざまな農産物の生産地でもある。震災・原発事故後、農産物の産出額は減少。お米の放射性物質の全袋検査を行うなど、風評被害を払拭しようと農林水産物の魅力と安全・安心に向け、「おいしいふくしま、できました」をキャッチフレーズにPR活動を展開している。



プロジェクトメンバー  
緒方隼人さん  
(大学生・銘城台)

## 「また来たい!」とうれしい言葉

以前から地域の活性化について興味があり、「第2回ともつくカフェ」に参加したのがきっかけでプロジェクトメンバーに入りました。初めての会議では、自分が何をすべきなのかわからなくて、周りの大人の人たちの意見に賛同するだけでした。キャンプのサプライズ企画を任されたときは、今まで何もできなかった分、がんばろうと決意。少しでも楽しんでもらえるよう、同級生のボランティアの人たちと話し合いを重ねました。キャンプが始まったら自然と子どもたちと仲良くなり、多くの笑顔が見ることができて大満足です。参加者の方に「また来たい」と言ってもらえたことが、何よりもうれしいです。



ボランティアスタッフ  
小西恵理さん  
(大学生・郷之口)

## かけがえのない経験

初めてこのようなボランティアに参加。福島の方とお会いする前は、どのように接すればよいかと不安でした。しかし、不安は子どもたちの笑顔を見るとすぐに吹き飛びました。宇治田原の自然の中で一緒に駆け回って、美味しいご飯を食べて、たくさん笑って、すばらしい時間を過ごすことができました。キラキラまぶしい笑顔を見ることができてうれしかったです。自らもサプライズ企画を考えて、どのようにすれば皆さんに喜んでもらえるのか、ワクワクすることができました。良い経験ができたこの3日間で、かけがえのないものを手に入れることができたと思います。

# 「ふくしまっこ」と過ごした夏



3.11の福島第一原発事故以来、福島県と周辺の子どもたちは、屋外での活動を制限される状況が続いています。震災直後の平成23年と翌年の夏、キャンプ in 京都宇治という保養キャンプが開催され、私も微力ながらお手伝いしました。参加者からの、継続した開催の要望を受け、活動を継続的に支えてくれる仲間を求め、「ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト」を発足。キャンプの企画にあたって、宇治田原に住む私たちができることは何か、何度も話し合いました。ここには電車の駅やショッピングモール、ファーストフード店もありません。けれど子どもたちが飛び込んで、虫や小魚を追いかけられる川、おいしいお米や野菜があります。ふくしまっこをお迎えするなら自宅に泊まっていよいよ、と言ってくれる方々。子どもたちと一緒に遊ぼうと集まってくれた若者が大勢いました。私たちは日頃、地域に「ない」ものにはよく気づきますが、「ある」ものには注意が向きにくいものです。今回、4家族をお迎えすることで、宇治田原の自然や人などの資源を再発見する機会を与えられました。ホームステイ先のご家族の温かいおもてなしや、ボランティアスタッフの明るさと心遣いのおかげで、参加者からは「本当に自分の故郷に里帰りしたような気分になりました」「宇治田原が子どもた

ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト代表

柘植彩さん Tsuge Aya (荒木)

町ともに創るまちづくり協議会運営委員。震災ボランティア・子育てサークル「ママ'sアクション」代表。一女の母

ちの田舎になったらうれしい」といった感想を頂きました。本当にありがたいことと感謝しています。今回のプロジェクトには中学生から大学院生まで多くの学生がボランティアとして参加してくれました。自分のできることを考え、準備から子どもとの鬼ごっこまで、素晴らしい連携で動いてくれました。宇治田原には素敵な若い力があると改めて感じることができたのも、大きな収穫の一つです。個人的な意見ではありますが、原発事故の責任は、東京電力や福島県、国だけにあるのではなく、原子力という科学技術の恩恵を受けて生活を築いてきた私たち日本人全てにあると考えています。その責任を子どもたちに負わせたくありません。事故の影響下にある子どもたちに、たった3日でも放射線を心配せずに外で遊ぶ機会を提供した元気回復キャンプ。ささやかですが、日本人の一人として私たちに「できること」を実行する機会を与えてくれました。

# キャンプは、地域にあるものを再発見し 私たちができることを実行する機会に。

参加者の皆さんとは「また会おうね。いつでも宇治田原に帰ってきてね」と言ってお別れしました。これからも必要とされる限り、継続してキャンプを開催していきたいと考えています。宇治田原の皆さん、どうか来永く「ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト」を温かく見守ってくださいませようお願い申し上げます。

ふくしまっここの笑顔が溢れた、大成功のキャンプだったと思います。みんなが自分のできる範囲のことをやった結果だと思えます。昔、花火大会の事務局を担当したことがありました。この経験が今回の事務局としての運営に活かしました。ある程度のノウハウが自分の中にあって、イメージができていました。計画して実現しなかったのは大滝での流しそうめんです。かね(笑)。大滝の水をそのまま利用して、流したかったんですが、衛生面などの理由でできませんでした。

運営が一番スムーズに進んだのは、プロジェクトのメンバーやボランティアスタッフ、関わった人すべてが同じ方向に向いていたからだと思います。こんなこと言うと恥ずかしいですが、今度キャンプをする時、プロジェクトの話を娘にしたとき、手伝うと言ってくれました。実はこれが、最もうれしかったことなんです。そしてキャンプの運営について「お父さん、やるやん」と褒められました(笑)。



ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト事務局長  
馬場哉さん Banba Hajime (郷之口)  
町ともに創るまちづくり協議会会長。菓子製造販売業

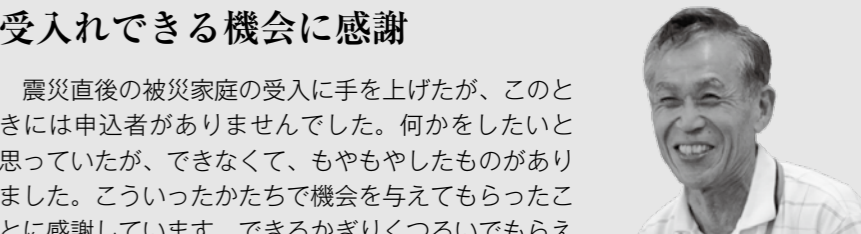


# みんなが同じ方向を向いて、自分ができるところをしたら結果。



湯屋谷子ども会代表  
浅田敬子さん (湯屋谷)

このキャンプの日程に合ったのが縁で、プロジェクトから湯屋谷の地蔵盆行事に参加させてもらえないかと、依頼を受けました。湯屋谷に住む子どもが減ってきているので、せっかくの行事だし、たくさんの人に参加してもらえたらうれしいと、お引き受けしました。ふくしまっこには、珍しい灯籠張りに挑戦してもらうことができました。懸命に野菜でへびを作っている姿が印象に残りました。子を持つ母として、子どもが屋外で当たり前で遊ぶことができていたことに、改めてありがたさを感じました。



ホームステイの受入  
上辻正博さん (奥山田)

2年間、被災地への思いを持ち続けた人たちがいました。その思いに共感した人たちがいました。その人たちは、つながり、その輪はどんどん大きく広がっていきましました。その輪の核となった「ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト」のメンバーは自分たちの思いをカタチにしようと事業を計画。そのカタチになったのがこの元気回復キャンプです。以前から「被災地に何かできることはないか」と思っていた多くの人が、思いを実現できる機会となり、さらに大きな輪となり、さまざまな支援が広がりました。

次なるステージは

第3回 うじたわら大好きな人、あつまる! つながる!

## ともつくカフェ

いくつになっても元気で生きがいを持ち、住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていきたいものです。今回のともつくカフェでは、高齢者のひきこもりや孤独死を防ぎ、地域とのつながりの中で、みんなが楽しい生活を送るためのヒントを探してみませんか。今は良くて「いつかは自分の問題」。一緒に語りましょう。

日時 **9月16日** 月・祝 午前10時～正午

場所 **総合文化センター研修室2**

内容 (1部)「しあわせの家(郷之口)」の運営に関わって発表者:「しあわせの家」ボランティアスタッフの皆さん (2部) 交流会

参加費 200円(飲み物、お菓子代)  
※保育ルーム有り(要事前予約)

図・園宇治田原町ともに創るまちづくり推進協議会事務局(企画・財政課内 ☎88-6632)  
Eメール kikakuseisaku@town.ujitawara.kyoto.jp

さまざまな支援のカタチ

キャンプのすべての準備・進行は、中学生から80歳までの幅広い年齢層のボランティアスタッフが担っています。ホームステイの受入に4家庭が協力。湯屋谷地域は地蔵盆行事へ招待。寄付を募れば、活動できるだけの十

生まれた絆がまちを育む エネルギーに

宇治田原の地域資源を再発見する機会にもなったこのキャンプ。プロジェクトメンバーやボランティアスタッフとして、老若男女が思いを一つに知恵を出し合い力を合せて、企画・運営にあたりました。このつながりは、きっと、明日をつくるエネルギーとなり、まちを育む原動力になるはずですよ。

始まりは「ともつくカフェ」

このきっかけとなったのが、宇治田原町ともに創るまちづくり推進協議会が開いた「第2回ともつくカフェ」(3月3日)。このときのテーマは「原発事故の影響を受けている福島で暮らす人に、宇治田原にいる私たちが今、何ができるのか。後のプロジェクト代表になる柘植彩さんが、前年と前々年に行った「サ

分な資金が集まりました。当日には食材や参加者へのプレゼントも届けられました。

朽木ファミリー(福島市)

洗貴くん(小4) おいしくてピザ7切れ食べた。

千春さん(小2) 初めてやった茶室もおもしろかった。

裕香さん(小2) ホームステイ先で楽しく過ごした。川でドングをとったことがよかった。

恵子さん(小1) 全部、衝撃的でした。

博之介くん(年長) 広場でした野球がよかった。

ほの花さん(小1) いろいろあそべて楽しかった。

生田目ファミリー(埼玉県吉川市。いわき市から転出)

瑠花さん(中2) プールでの鬼ごっこが楽しかった。

裕美子さん(ホームステイ先) しげちゃんを作ってくれただしまきが一番おいしかった。

桃さん(小1) プールで泳げたのが楽しかった。

虎之助くん(年少) 宝物はセミの抜け殻。

達也さん(年中) 流しそうめん楽しかった。竹の器をお土産にもらった。

龍之介くん(年中) エビをつかまえたのが楽しかった。セミの抜け殻いっぱい集めた。

一男さん(小学生) キャンプファイアーで「輪」になって踊るとは。

衣理さん(大学生) ホームステイ先で食べた鹿肉がおいしかった。

紗也加さん(中2) 宗円生家で飲んだお茶、ホームステイ先の抹茶、おいしかった。

龍子さん(小学生) 流しそうめんがおいしかった。



# 参加者の声

# つながった思い。絆はまちを育む原動力に

# 思いが大きな思いやりへ

Topics

### 銘城台自主防災会が設立 町内全11区で組織化

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の精神のもと8月18日、銘城台自主防災会が設立されました。

銘城台自治会館で行われた設立式で会長となる安中亮二区長が「関係者のご尽力により念願の自主防災組織を設立できた。銘城台らしい組織として住民の安心・安全を図っていききたい。本日からスタートになるが、住民の皆さんのご協力とご理解が不可欠。訓練等に積極的に参加いただきたい」と挨拶しました。

同自主防災会は情報、避難誘導、救出救助、給食・給水、消火の5班で組織。9月22日には第1回の訓練を実施。順次、資機材の整備が進められる予定です。

これにより、町内全11区に自主防災会が組織化されました。町では、小学校区単位での自主防災会が参加する防災訓練等を通じて連携を図ってまいります。



図総務課 ☎88-6631



浅田武男



森井一聡

本番で安定的な操法技術を見せたポンプ周り担当の2人。砂まみれになって何度も反復練習していた。



本番の操法終了後、指導員とがっちり握手。



浅田樹伸



谷口和也

#### 奥山田支部

来年の京都府消防操法大会に出場する立川支部の大西部長は「今年の経験を糧に上位入賞をめざします」と話しました。  
出場選手は次の皆さん(敬称略)  
▼奥山田支部▽指揮者 浅田武男  
▽1番員 谷口和也▽2番員 浅田樹伸▽3番員 森井一聡▽補助員 谷口泰平  
▼立川支部▽指揮者 下岡孝行▽1番員 榎木貴志▽2番員 木原征紀▽3番員 垣口敬尚▽補助員 松本和晃



垣口敬尚

木原征紀



廣垣部長は「とてもうれしかったです。優勝したこともそうですが、みんなでやり遂げたことを、最高のかたちで評価されたことがうれしいです。昨年は小隊訓練を経験し、今年では小型ポンプ操法。団員が一丸となってまじめに頑張りました。また、やらされているのではなく、楽しんでいくことが良かったと思います。長いようで、終わってみると短く感じる訓練でした。指導していただいた消防関係の方々、なにより家族や会社の方々には本当に感謝しています」と述べました。

前回大会も宇治田原町の第1分団第3部(湯屋谷支部)が優勝。2大会連続の優勝となり、宇治田原町消防団の操法レベルの高さを示す結果となりました。

この大会は、団員の消防技術の向上と土気高揚を図るため2年に1回開催。小型ポンプを使用し、火点へ向けて実際に放水。その一連の流れ、動作のスピードと正確性、安全性を競い合います。

本町からは、第1分団第2部(立川支部・大西支部長)と第4部(出場。両支部は春から大会に向けて、連日連夜、砂まみれになって汗を流してきました。

大会へは、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町の各消防団を代表する全7チームが出場。日頃の鍛錬で培った成果を披露しました。この中で、「心地いい緊張感の中で、練習どおりの操法ができた」という奥山田支部が、スピードと正確性で安定感のある操法を見せ、優勝を果たしました。

この大会は、団員の消防技術の向上と土気高揚を図るため2年に1回開催。小型ポンプを使用し、火点へ向けて実際に放水。その一連の流れ、動作のスピードと正確性、安全性を競い合います。

住民グラウンドで7月28日、第22回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会が行われ、宇治田原町消防団(榎村昌弘団長)の第1分団第4部(奥山田支部・廣垣稔部長)が優勝に輝きました。

# ズバッと火点射抜き 奥山田支部が優勝

第22回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会

隔年で開催される綴喜支部消防操法大会。各市町の代表チームがポンプ操法を披露。夏の強い日差しが照りつける住民グラウンドで、訓練の成果が競われた。



#### こちら消防分署 宇治田原分署 ☎88-5500

### その119番、本当に緊急ですか?

9月8日(回)~14日(土)「救急医療週間」

命にかかわる傷病者が1秒でも早い救急車の到着を待っています。

最近、緊急性のない病気やケガでの出動要請が増加しています。例えばこんなケース。「タクシーを呼ぶとお金がかかるから」「今日入院するからついでに救急車で」「救急車でいったほうが早く診てもらえるから」「どこの病院に行けばいいかわからないので」

一人でも多くの命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

※急いで病院へ連れて行った方がよいと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。

18歳未満の子どものいるご家庭には、プレミアムカードを役場福祉課へお申し出ください。

地域のみなさんといっしょに、この町の人々を応援します。

U-P CARD PREMIUM

宇治田原町商業振興協同組合

ビジネスからパーソナルまで

90年の歴史の中で培った経験やノウハウと、最新のデジタル技術と設備を駆使してお客様のニーズにお応えします。

自社設備による一貫生産だから中間マージンゼロ、安く早い。

新しいこと 進んで やる

SINCE 1914

Shin Shin DO 有限会社 新進堂印刷所

〒611-0021 宇治市宇治砂薬9(あがた通り)  
TEL. (0774) 22-3024  
FAX. (0774) 23-0649

毎週日曜日に新聞折込して 快適住まいのリフォーム

Refine パナソニックのリファインショップ

介護保険対象工事・太陽光発電・オール電化・バリアフリー改修・省エネ改修・耐震改修・火災報知機承ります。

ネットで検索 リファイン京田辺

リファイン Refine 京田辺

京田辺市三山木西荒木6 お問合せ 通話料無料 0120(806)200へ

JAバンク

あなたの街の近くで便利なJAです。

お問合せは近くのJA窓口又は海外担当者へ

JA京都やましろ 宇治田原町支店 (0774) 88-2034

一緒にうれしい On Your Side

中央信用金庫

みなさまのすぐとなり 京都中央信用金庫があります。

宇治田原支店 宇治田原町後場東南250m ☎0774(88)4311 ☎0774(88)4494

ながーい、おつきあい。

給与 年金

お受け取りは京都銀行へ

飾らない銀行 宇治田原支店

京都銀行 TEL.0774(88)3737



### 「原爆の悲惨さ、伝えていきたい。平和の輪を広げたい」

和や命の尊さについて学ぶ「青少年ピースフォーラム」が長崎市で8月8・9日に開催されました。本町からは、非核平和都市推進協議会会長の西谷信夫町長から任命された、維孝館中学校3年生の井山大登さん、高木有紗さん、松浦孝明さん、横田渉さんの4人が平和友好大使として派遣されました。

肌で感じました。特使からは、事前に町内小・中学校の児童・生徒に呼びかけ、平和への願いを込めて作られた千羽鶴が桜馬場中学生代表に手渡され、これから一緒に核兵器のない平和な世界をめざすことを誓い合いました。そして、投下された午前11時2分、サイレンに合わせて、祈念集会の参加者全員が、被爆された方々に追悼の意を込め黙祷を捧げました。

今回の体験を通して特使は「戦争や被爆で、68年経った今でも苦しんでいる人がいる。被爆者は、思い出したくない記憶を、つらい思いをしても、次の世代に伝えようとしている。核兵器が二度と使われないために自分達にできること。平和な世界をつくらなければならない」と語り、



## 平和友好特使4人 ナガサキへ

全国の小・中・高校生、大学生が、交流しながら平和や命の尊さについて学ぶ「青少年ピースフォーラム」が長崎市で8月8・9日に開催されました。本町からは、非核平和都市推進協議会会長の西谷信夫町長から任命された、維孝館中学校3年生の井山大登さん、高木有紗さん、松浦孝明さん、横田渉さんの4人が平和友好大使として派遣されました。

今回の体験を通して特使は「戦争や被爆で、68年経った今でも苦しんでいる人がいる。被爆者は、思い出したくない記憶を、つらい思いをしても、次の世代に伝えようとしている。核兵器が二度と使われないために自分達にできること。平和な世界をつくらなければならない」と語り、

に、今回体験してきたことを身近な人に伝えることから始めたい。そして平和の輪を広げていきたい」と語りました。



上) 原爆の子の像に平和の祈りを込めた千羽鶴を献納  
下) 参加者と同世代で被爆した人の体験記や詩を朗読



# 託された平和のバトン

日本に2発の原爆が投下されて68年目を迎えるこの夏。次代を担う子どもたちが被爆地を訪れ、悲惨な過去を知り、その現実と向き合いました。子どもたちは被爆地の平和への強い思いや願いに触れるとともに、次代への平和のバトンを託されました。

S20.8.6-8:15 Hiroshima

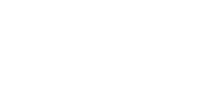
## 小学生12人 平和の祈り ヒロシマへ



**中森紗也佳**  
田原小6年



**田中大寛**  
宇治田原小6年



**馬場先拓人**  
宇治田原小6年



**石山太陽**  
田原小5年

一つの原子爆弾で一瞬にして広島が火の海になりました。木のかけらがざざと死んだ人、苦しむ人。やけどをおって池の中に飛び込む人、内臓が出ている人。本当に起きたことは思えません。平和な世界をつくるために私達ができること。戦争の悲惨さを後世に伝えていくことだと思えます。まずは身近な人と平和について話し合ってみませんか。

戦争の怖さ  
広島は68年前、アメリカ軍のB29によって、原爆が投下され、焼け野原になってしまいました。今の広島は、焼け野原になったときとは大違いで、すくなくやがてです。今、こうしている間に世界では戦争が起こっています。戦争をして何の意味があるのか。戦争はこの世にいらぬです。一人ひとりが平和について考えてくれるとうれしいです。

広島について  
8月6日に広島にいた人はどんな気持ちだったのか。この広島平和体験学習とおして少しわかったような気がします。広島で14万の人が亡くなったことはとても悲しいことです。原爆で家族や友達を失った人がとてもかわいそうです。

原爆について  
「げんしばくだんがおちると、ひるがよるになって、人はおぼけになる」。原爆のことが一番よくわかった詩だった。詩を読んでもらったときは「アック」としました。こんなふうに住んでいった人がいるなんて信じられませんでした。平和について考えたほうがいいと思えました。そのために、ぼくはこういうことをみんなに伝えていきたいと思えます。



**小林大星**  
宇治田原小6年



**原田彩海**  
宇治田原小6年



**松永穂乃実**  
宇治田原小6年



**大橋土生**  
田原小5年

原子爆弾は、人の命も、建物も、にぎやかだったまちも、何でも破壊してしまいました。小さい子どもが死んでしまうこともかわいそうです。なぜ、原子爆弾を落とすのか、多くの人を殺してしまうのか、不思議です。

広島を考えると未来を考えると  
きびしい暮らしの中で生きていた広島の人々。家族を、友達を失った。原爆で広島の人々はたさんの大切なものを失った。今でも心の傷は残っているだろう。私達が知った原爆詩以外にも多くの詩があるのだろう。二度とこんなことが起こらないようにしたい。平和な世界をつくるために、私は学んだことをたさんの人に伝えていきたいです。

平和体験学習に行つて  
被爆体験記の朗読では、「痛かったのだろうか」「苦しかったのだろうか」と感情が出てきました。資料館で中学生が着ていた服を見ました。4年生の妹と同じぐらいのサイズだなど思いました。戦争中だからご飯も満足に食べられなくてずいぶん小さかったんだと思えました。

広島は怖い  
原爆ドームは、原爆が落とされた時のまま、骨組だけが残っていないまま、恐ろしく思いました。戦争中は兵隊さんの食べ物優先され、普通の人はあんまり食べられなかったことを知り、好きだけ食べられるのは幸せだと思えました。



**小野栄光**  
田原小5年



**藤井千尋**  
田原小5年



**森 堅進**  
田原小5年



**森 堅進**  
田原小5年

原爆はすべての物を破壊しました。ある人のどには大きな穴が開き、肉がたれ下がり必死で逃げた人もいたようです。ぼくが思っていたより戦争はあまりにもひどかったです。世界には戦争をしている国があります。爆弾を落としたり人を殺したりすることは絶対にいけない。世界中のみんなが友達になって相手のことを思いやれば、戦争は無くなると思います。

私が学んだこと  
平和なまちが8月6日、時計が8時15分で止まりました。4千度の火の玉が直径280メートルも広がる、まちを焼きました。助かった人ですら、放射線が毛が抜けたり、白血球やガンで何十年も苦しむ思いをしてきました。とても悲しく、残酷な出来事を未来へ伝えていきたいと思えます。平和な生活がどれだけ幸せなのかを知りました。

爆弾なんて落ちてほしくない  
爆風で建物が全部つぶれてしまいました。放射線が毛が抜けていました。家族の目の前で亡くなった人もいます。ケロイドになり、川に飛び込む人がいっぱいいました。まちが火の海になっていました。もう原爆は落ちてほしくないです。戦争が起こってほしくないです。戦争は国と国のケンカです。外国の人と、対話したら戦争がなくなると思っています。

原爆は怖い  
これから戦争は絶対にはいけないと思えます。今の平和な日本で生活できることを幸せだと思えます。

7月23・24日の広島平和体験学習に、小学生12人が参加しました。被爆体験記や原爆詩の朗読や平和記念資料館等での学習を通じて命や平和の尊さを学びました。また、住民の平和への祈りが込められた千羽鶴を原爆の子の像に献納しました。  
(体験記は一部抜粋して記載。敬称略)



**全国一斉「法務局日曜相談」**

日時 10月6日(日) 午前10時～午後4時

場所 イトーヨーカドー六地藏店1階特設会場

相談内容 登記、人権、戸籍、成年後見、国籍、供託、遺

**身体障がい者相談**

日時 整形外科 9月4・11・18・25日(水) 午後2時～4時(要予約)

場所 府家庭支援総合センター1城陽相談室(城陽市中芦原)

内容 補装具、リハビリ、施設利用に関する相談など

● 圃福社課 ☎8806635・FAX8803231

**暮らしの情報**

● 圃問合せ先 ● 圃申込先

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9月

**健康**

40歳以上の国保の特定健診受診期限は今年末

町の国民健康保険に継続して加入する40歳以上の方に、6月末に「特定健康診査」の受診券(りんどう色)を送っています。受診期限は今年末。まだ受診していない方は、自身の健康管理

**警察相談の日**

9月11日は「警察相談の日」です。悪質な迷惑行為やトラブルに悩んでいませんか。迷わず警察に相談ください。

圃田辺警察署相談係 ☎630110 / 警察本部警察総合相談室 ☎0754140110

**75歳以上の方の健診**

後期高齢者医療制度にご加入の75歳以上の方の健診は、今年末が期限です。まだお済みでない方は事前申込み(郵送可)後、配布された受診票と後期高齢者医療被保険者証を持って医療機関でお早めに受診ください。

圃戸籍・保険課 ☎88634

**「知る」は「治る」の第一歩**

**生活習慣病予防健康診査**

生活習慣病の予防や早期発見のために、年1回の健康診査を受けましょう。

圃30～39歳の女性(昭和49)

**スポーツ講演会**

加齢による筋力低下の仕組みや、なぜ筋肉の萎縮を抑えなければならぬかを解説。筋力トレーニングの方法が学べます。

日時 9月7日(土) 午後1時30分～3時

場所 住民体育館

対象 高校生以上の町内在住・在勤者、スポーツ指導者等

**参加者募集**

第9回 『聞こえのサロン』

聞こえに不便を感じている方を対象に、楽しい交流のひとつを過ごすサロン。“悩み相談”“情報交換”の場としてもぜひ気軽にご利用ください。希望される方には聴力測定も実施。ご家族の方の相談も歓迎します!

対象 聞こえに不自由を感じている方(身体障害者手帳を持っていない方もOK)

日時 9月20日(金) 午前11時30分～午後2時30分

場所 老人福祉センター「やすらぎ荘」

内容 ゲームやうたを楽しみましょう!

参加費 300円(昼食代。当日受付へ) 締切 9月13日(金)

\*当日は、要約筆記サークルが声や会話を文字にしてお伝えします。お一人で参加しにくい方。送迎の必要な方は、お申し出ください。

主催 要約筆記サークル「グリーンティ」 宇治市障害者生活支援センター「そら」

圃 圃社会福祉協議会 ☎88-3294・FAX88-4094

**食改の窓**

この時期は小さいけれど収穫されたばかりの里芋を神に供えることから、十五夜の月を特に芋名月と言う地域もあります。

圃 圃健康長寿課 ☎886336

**75歳以上の生活習慣病予防健康診査**

後期高齢者医療制度にご加入の75歳以上の方の健診は、今年末が期限です。まだお済みでない方は事前申込み(郵送可)後、配布された受診票と後期高齢者医療被保険者証を持って医療機関でお早めに受診ください。

圃戸籍・保険課 ☎88634

**安心・安全の害虫駆除サービス**

スズメバチ 害獣駆除 (クダチ・コウモリ・アライグマなど)

シロアリ 衛生害虫(ゴキブリなど)

山城害虫駆除 TEL.0774-88-2701 宇治田原町岩山畠72-8

**吉岡 弥生さん** 第2班(南)

お月見の晩には、お月見どろぼうといって、供えてあるおだんごを食べさせてもらいに近所の家を訪問。誰にも見つからずにこっそりおだんごを食べることができれば「いいことがある」と伝えられ、お月見の晩にはこの家も出入り自由。子どもがおだんごをとりやすいように縁側におだんごをお供えました。

今月の食改さん

① エネルギーの源 [主食] 例えば、ごはん、パン、麺類など。これら穀類には炭水化物が多く含まれます。

② からだの調子を整える [副菜] 例えば、野菜、芋、きのこ、海藻など。小鉢や具だくさんの汁物にして食べると、ビタミン、ミネラル、食物繊維が摂取できます。

圃保健センター ☎88-6636

**うじたわの現在を届ける情報紙 広報うじたわ『町民の窓』**

=地域の元気・住民の躍動を伝えます=

発行部数 3,300部  
体裁 タブloid版・右綴じ  
約11ページ(月により異なる)

**広告募集**

**中川歯科医院**

〒610-0105 銘城台10-5 ☎88-5489

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前 9:30～12:30	○	△	○	○	○	○	-
午後 3:00～8:00	○	△	-	○	○	-	-

△火曜 午前 9:00～12:00・午後 2:00～7:00

# 子育て通信

圃地域子育て支援センター ☎88-6622・FAX88-3104

**対象者**

・まいまいネンネ広場  
妊婦さんや7か月くらいまでの親子

・まいまいヨチヨチ広場  
8か月から1才半くらいまでの親子

・まいまいあそびの広場  
1才半から就学までの親子

・まいまいおでかけ広場  
妊婦さんから就学までの親子及び子育て支援に関心のある方

## 「上手なしつけ」 子育てのコツ

- **愛情と甘やかしは違う**  
子どもは自分の思いどおりにならないと、うっぷんを晴らすようにかんしゃくを起こします。そんな時、子どもの言いなりになるのは甘やかし。子どもがうまく機嫌を直せるよう手助けしてあげましょう。
  - **上手なしつけのポイント**  
怒鳴ったり、甘やかしたりしなくても、子どもをしつけることはできます。それにはまず、年齢によってできないことを理解しましょう。子どもは褒められることによって、よいふるまい方を学んでいます。
- ① 成長に合わせたしつけをする
  - ② いい子にしていたらすぐほめる
  - ③ 大人を困らせる行動にはとりあわない
  - ④ よい見本を示す
  - ⑤ ルールをつくり、折にふれてくり返す
  - ⑥ 自分のやったことの結果をわからせる

親子で一緒におそんだり、育児の情報交換の場「地域子育て支援センター」。お気軽にお越しください。

開設日時▶平日午前9:30～午後4:00  
子育てに関する相談も受け付けています。

日	月	火	水	木	金	土
	2	3	4	5	6	7
事業名	臨床心理士による子育て相談(要予約) 17日(火) 10:00～正午 子育て支援センター		まいまいおでかけ広場 10:00～正午 禪定寺会館	まいまいネンネ広場 10:00～11:15 子育て支援センター	持物バスタオル 防水シート	園庭開放 10:00～11:30 保育所 雨天中止
時間	8	9	10	11	12	13
内容			まいまいおでかけ広場 10:00～正午 まるやま交流館 わらべうた ペープサート	まいまいヨチヨチ広場 10:00～11:15 子育て支援センター ふれあいあそび		
	15	16	17	18	19	20
			まいまいあそびの広場 10:00～11:30 保育所ホール ばふばふ人形劇(保育所合同)		<b>「みんなの家」開放日</b> 毎週水・金曜日 10:00～15:00 子どもとおそんだりおしゃべりに利用しましょう!	園庭開放 10:00～11:30 保育所 雨天中止
	22	23	24	25	26	27
			まいまいおでかけ広場 10:00～正午 高尾公民館 散歩			まいまいおでかけ広場 10:00～正午 みんなの家 お茶教室 ママと一緒に お抹茶をたてて みませんか 予約制
	29	30	10/1	2	3	4
			<b>子育てサークル活動日</b> わらべうたサークル 10日◎10:15～ 18日◎10:30～ たんぽぽサークル 10日◎10:15～ 18日◎10:30～ ママ'sアクション 25日◎10:30～	まるやま交流館 子育て支援センター みんなの家	まいまいおでかけ広場 10:00～正午 住民グラウンド・体育館 運動会	

## 保健センターだより

圃保健センター ☎88-6636

**野菜で健康生活。毎日、十一皿**

9月は食生活改善普及運動・健康増進普及月間

毎日の元気はバランスの良い食事から。毎食、「主食・副菜・主菜」の組み合わせを意識すると、食事のバランスが良くなります。大人が一日に必要なとされる野菜の摂取量は350g。これは日本人の平均摂取量にもう一皿加えた量です。もう一皿、野菜を摂ることで、さらに一歩、理想的な食生活に近づきます。



**バランス良く、1日3食**

食事を作ったり、選んだりするときに、「主食・副菜・主菜」を組み合わせることを意識すると、バランスが良くなります。生活習慣病を防ぐには、適正なエネルギー量で、1日3食規則正しく、バランス良く食べることが重要です。

**からだをつくる**

【主菜】 例えば、魚や卵、大豆、肉など。メインのおかずで、たんぱく質をしっかり摂りましょう。

### あなたの家庭はできていますか? 毎食のバランスチェック

- ① エネルギーの源 [主食] 例えば、ごはん、パン、麺類など。これら穀類には炭水化物が多く含まれます。
- ② からだの調子を整える [副菜] 例えば、野菜、芋、きのこ、海藻など。小鉢や具だくさんの汁物にして食べると、ビタミン、ミネラル、食物繊維が摂取できます。



**今月の保健・予防日程**

離乳食教室◎  
3日◎ 午前10時～正午  
一般・乳幼児健康相談◎  
10日◎、24日◎ 午前9時～11時受付  
乳児後期健康相談  
6日◎ 午後1時～1時30分受付  
乳児健康診査  
20日◎ 午後1時～1時30分受付  
乳幼児身体計測◎  
6日◎、20日◎ 午後2時～3時

\*いずれも保健センター ◎=要予約

**今月の元気はつつ!若返り塾**

交流会(総合文化センター)  
4日◎【午前】  
おやじエクササイズ(総合文化センター)  
20日◎【午前】  
高尾公民館 26日◎【午前】  
郷之口会館 2日◎【午後】  
銘城台自治会館 5日◎、30日◎【午前】  
荒木(やすらぎ荘) 13日◎【午後】  
南公民館 19日◎【午前】  
岩山会館 2日◎、18日◎【午前】  
緑苑坂自治会館 6日◎【午前】  
30日◎【午後】  
禪定寺会館 13日◎【午前】  
立川公民館 6日◎【午後】  
湯屋谷会館 12日◎【午前】  
奥山田会館 27日◎【午後】

\*【午前】=午前10時～正午  
【午後】=午後2時～4時

圃・圃在宅介護支援センター ☎88-5784





## 町内で働きたい人集まれ 合同就職面接会・企業説明会

町内で営業・操業し人材を求める企業が集まる「町内合同就職面接会・企業説明会」を開催します。今年からハローワーク宇治と共催。会場での面接が受けられるようになりました。町内企業で働きたい方、この機会にぜひご来場ください。

【日時】 10月7日(月) 午後1時30分～4時 (受付:午後1時～)

【会場】 総合文化センター研修室1・2

※事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。町外在住者も参加できます。

〒産業振興課 ☎88-6638/ハローワーク宇治 ☎20-8645



*Message*  
皆さんこんにちは。アレンです。自然豊かな宇治田原町に来てうれしいです。英語の授業だけではなく、まちの人々とふれあい、文化交流もしたいです。日本語が話せるようがんばります。どうぞよろしくお祈りします。

### プロフィール

名前 Allen Christopher Van Hellen  
出身 アメリカ テキサス州  
年齢 32歳  
趣味 運動(ウォーキング等)

本町の第7代目ALT(外国語指導助手)として、アメリカのテキサスからアレン・クリストファー・ヴァンヘレン先生が着任しました。英語教育の充実に向け、ALTを一人増員。今後は、3年目となるベツキ先生

# ようこそ「アレン先生」 ALT2人体制に

(レベツカ・キミコ・ハセガワ)とともに、保育所・幼稚園での英語遊びや、小学校・中学校での英語教育に携わります。

アレン先生の歓迎セレモニー(8月6日、総合文化センター)。町立保育所の園児たちから首飾りがプレゼント。



前売チケット  
販売中

## 海援隊トーク&ライブ2013

9月14日(土)

開演/午後4時30分(開場/午後4時)

会場/総合文化センターさざんかホール

前売券 4,000円(当日券500円増)全席指定

●前売りチケット販売所  
総合文化センター ☎88-5851



町内の名所を巡り、スタンプを台紙に押しして応募すると特産品が当たるスタンプラリーを今年も開催します。

期間 9月9日(月)～12月1日(日)

スタンプ設置場所 ①猿丸神社 ②永谷宗円生家 ③御栗栖神社 ④厳松院 ⑤大道寺 ⑥建藤神社 ⑦遍照院 ⑧正寿院 ⑨総合文化センター

台紙の  
配布場所

役場、総合文化センター、スタンプ設置場所、京都総合観光案内所(京都駅)等。町HPからダウンロード可

応募方法 6か所のスタンプを台紙に押し、必要事項を記入し受付場所に提出。郵送の場合は台紙原本を産業振興課へ(台紙の返却不可)

応募受付 ●産業振興課=平日 午前8時30分～午後5時  
●総合文化センター=休日 午前9時～午後5時  
※応募多数の場合は抽選。当選者の発表は賞品の発送をもって替えます。

〒産業振興課 ☎88-6638



## 秋の町内全域で クリーンキャンペーン

9月22日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・郷之口=午前8時～/銘城台・岩山=午前9時～

和い輪いまちづくり宇治田原町推進協議会(会長=西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆様のご協力をお願いします。

実施方法 地区ごとに集合し指定の場所のごみを収集

集合場所 各地区公民館・自治会館

〒和い輪いまちづくり宇治田原町推進協議会事務局(教育委員会教育課内) ☎88-5850



## くどうてん

長崎市ピースフォーラムの司会進行やフィールドワークのガイドをしてくれる青少年ピースボランティアの中学・高校・大学生たち。前向きでパワフルな彼らの姿は、毎年、会うたびに刺激とエネルギーを与えてくれます。

「ふくしまっこ in 宇治田原 元気回復キャンプ」でも多くの学生ボランティアが活躍していました。彼らにピースボランティアの姿が重なりました。宇治田原にもある若い力から、さらに心の栄養をもらったところです。

(K)

## 元気のヒケツ。



中辻 三郎さん(88歳)  
皆さんのおかげ。感謝の気持ちを持ち続けること。

## わが家のアイドル。



橋本 力弥ちゃん(4歳)  
4歳\*おめでとう\*たくましく・育てV(^-^)/V★



橋本 梨桜奈ちゃん(1歳9か月)  
日々の成長が楽しみです。これからも皆を笑顔にしてね♪



小川 楓翔ちゃん(2歳)  
9月で2歳!お誕生日おめでとう♪(お父さん・お母さんより)

元気のヒケツに登場する80歳以上の方を募集中 「写真」に、「氏名(ふりがな)」、「年齢」、「元気の秘訣(50文字以内)」、「電話番号」を添えて、郵便またはEメールでお送りください。ご希望があれば、広報担当者が写真撮影に伺います。

わが家のアイドルに掲載する乳幼児を募集中 写真と、子どもの「氏名(ふりがな)」、「年齢(〇歳〇か月)」、「メッセージ(25字以内)」をお送りください。

■投稿先 総務課広報(☎88-6631) 〒610-0289(住所記入不要) Eメール info@town.ujitawara.kyoto.jp